【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-534203(P2005-534203A)
【公表日】平成17年11月10日(2005.11.10)
【年通号数】公開・登録公報2005-044
【出願番号】特願2003-537305(P2003-537305)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/44　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　1/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/44　Ｚ
Ｈ０４Ｂ　1/26　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年10月20日(2005.10.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
モノリシック集積回路であって、
無線周波数（ＲＦ）テレビジョン信号を受信するためのチューナを備え、前記ＲＦテレビジョン信号が５５メガヘルツ（ＭＨｚ）から２１０ＭＨｚまでの基本周波数の範囲を含み、前記チューナが前記ＲＦテレビジョン信号を２０ＭＨｚ以下の中間周波数（ＩＦ）テレビジョン信号にダウン変換するためのものであり、さらに
前記ＩＦテレビジョン信号を受信するために、前記ＩＦテレビジョン信号をダウン変換するために、そしてナイキストフィルタ応答に応じて前記ＩＦテレビジョン信号をフィルタリングするためにナイキストフィルタを含み、前記チューナに結合したＩＦ復調回路を備えるモノリシック集積回路。
【請求項２】
前記ＩＦテレビジョン信号を処理して、ビデオ・テレビジョン信号およびオーディオ・テレビジョン信号を発生するための、前期ＩＦ復調回路が結合したＩＦプロセッサをさらに備える、請求項１に記載のモノリシック集積回路。
【請求項３】
前記モノリシック集積回路が閉路巡回型交流（ＡＣ）ループを備える、請求項１に記載のモノリシック集積回路。
【請求項４】
前記ＩＦテレビジョン信号の前記基本周波数が１３ＭＨｚを含む、請求項１に記載のモノリシック集積回路。
【請求項５】
前記チューナが、
第１のダウン変換回路と、
第２のダウン変換回路とを備え、
前記第１のダウン変換回路が、前記ＲＦテレビジョン信号の上位範囲にある基本周波数を含む前記ＲＦテレビジョン信号を受信するように結合され、前記第１のダウン変換回路が、第１のモードにおいて前記ＲＦテレビジョン信号の前記上位範囲に対する第１のテレ

ビジョン信号を発生するための回路であり、
前記第２のダウン変換回路が、前記第１のダウン変換回路に結合され、前記ＲＦテレビジョン信号の下位範囲を受信するように結合され、前記第２のダウン変換回路が、前記第１のＩＦテレビジョン信号を、前記第１の動作モードにおいて前記ＩＦテレビジョン信号の前記基本周波数に変換し、前記第２のダウン変換回路が、第２の動作モードにおいて前記ＲＦテレビジョン信号の前記下位範囲を前記ＩＦテレビジョン信号の前記基本周波数に変換する、請求項１に記載のモノリシック集積回路。
【請求項６】
前記第１のＩＦテレビジョン信号に対する基本周波数が、前記ＲＦテレビジョン信号の前記上位範囲の前記基本周波数により変化する、請求項５に記載のモノリシック集積回路。
【請求項７】
前記第１のダウン変換回路および前記第２のダウン変換回路が、複数の選択可能な離散的フィルタを備える、請求項５に記載のモノリシック集積回路。
【請求項８】
前記選択可能な離散的フィルタが、前記ＲＦテレビジョン信号の前記基本周波数に基づいて構成される複数の選択可能な容量性、誘導性および抵抗素子を備える、請求項７に記載のモノリシック集積回路。
【請求項９】
前記離散的フィルタがセルフ・アライン型トラッキング・フィルタを備える、請求項７に記載のモノリシック集積回路。